

高速しが

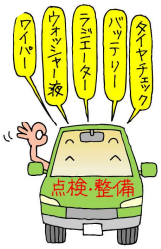
令和８年（２０２６）１１月号

発行　滋賀県高速道路交通安全協議会

雪への準備・対策はできていますか？

県内の高速道路の多くは山間部を通っていることから、天候が急変し、突然風雪に見舞われることがあります。特に冬の高速道路では、天候が急変することがあるので、気象情報をこまめにチェックし、十分注意しましょう。

出発前の整備・点検は念入りに



☑ ラジエーター・ウォッシャー液・軽油
寒冷地では凍結の可能性がありますので、不凍性のものに取り替えましょう。

☑ バッテリー
寒冷地や低温下の状況ではバッテリーが著しく消耗します。バッテリー液を点検しましょう。

☑ 燃料は満タン
雪道での走行は通常より多く燃料を消費するので、出発前には燃料を満タンにし、早めの給油を心掛けましょう。

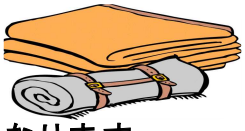
☑ ワイパーブレード
雪や氷でフロントガラスが見えなくなると大変危険ですので、濃度の高いウォッシャー液や冬用ワイパーに交換しましょう。

冬用タイヤ、チェーンは早めに準備

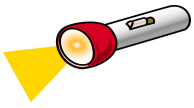


冬の天候は不順です。出発地が晴れていても、通過地点や目的地で天候が急変し風雪に見舞われることがあります。冬の高速道路では、天候の急変にも慌てないよう、早めに冬用タイヤへの交換とタイヤチェーンを事前に準備しておきましょう。

緊急時への備えは？



◎毛布、砂袋
毛布等は、スタックした時にタイヤの下に敷くと脱出しやすくなります。
毛布は、通行止め等長時間の停車時の防寒にも役に立ちます。



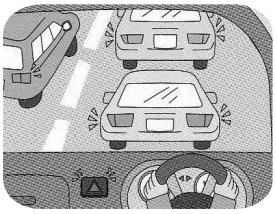
◎軍手、ゴム手袋、長靴、懐中電灯
軍手等を準備し、車外での作業に備えましょう。

路肩には危険が一杯！

高速道路の本線上は、約１００ｋｍ/ｈの高速度で車が行き交う危険が伴う空間です。
故障等でやむを得ず本線上や路肩に停車したとき、一般道と同じ感覚で行動すると思わぬ事故に巻き込まれます。
緊急時、やむを得ず路肩等で停車するときには、次のことに注意して悲惨な交通事故を防止しましょう。

事故や故障で緊急停車したときは

※ あわてず、ハザードランプを点灯し、可能な限り車を路肩に入れる。



※ 追突防止のため三角停止板や発煙筒を利用する。

※ 救援を待つ間は、ガードレールの外など安全な場所に避難する。



※ 路肩や本線上で事故当事者同士の話し合いをしない。

※ 路肩でパンク修理やタイヤチェーンの脱着をしない。

※ 本線上は絶対に横断しない。

※ トンネル内では、非常駐車帯に停車させるか、可能な限りトンネル外の路肩に移動する。

高速道路の『路肩』は安全な場所ではありません！



路肩では、故障等により停止中の車両への追突事故等が発生するおそれがあります。非常時には、慌てず「停車→避難→知らせる」の順で行動して下さい。
なお、非常電話は高速道路の１kmおきに（トンネル内は200mおきに）設置されています。